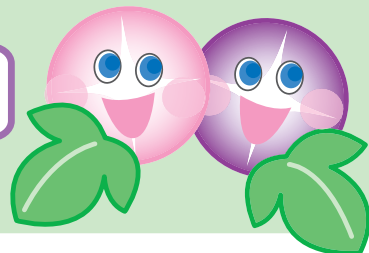


アサガオの育て方



◆用意するもの◆

- 種
- 土 肥料入りの花用園芸土がお手軽ですが、土づくりからチャレンジしたい方は、ふるいにかけて、ふるいの上に残った赤玉土(5)に対して、黒土(2)：ピートモス(1)：パーミキュライト(1)：腐葉土(1)の配合で混ぜてから、ふるいにかけて、ふるいの上に残った粗い土を使ってください。
- 追肥用肥料 元気に大きく育てるために肥料も必要です。環境に優しい有機肥料を使いましょう。
- 軽石 水はけを良くし、空気が通りやすいように大きめのものがおすすめです。
- プランター できるだけ大きめのプランター（幅約70cm、深さ約30cm）で育てるのがおすすめです。支柱を固定しやすいプランターもあります。
- ネット 園芸用ネット（10cmの網目サイズがおすすめです。つるがからまりやすく、強風のときにも風が通り抜けるので、植物へのダメージが少ないです。）事業所用としては、ロールタイプが便利でお得です。
- 支柱
- ジョウロやスコップ

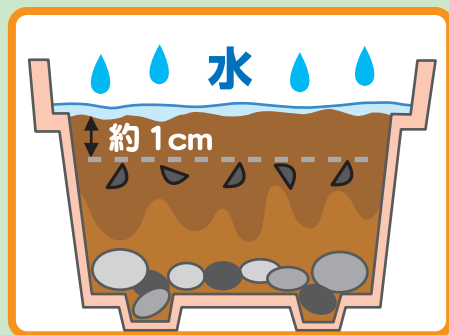
(1) 事前準備

- プランターの底のデコボコが無くなり、平らになるまで、底に軽石を敷くか、又は薄く鉢底石を敷きましょう。
- プランターの上部から5cm下まで、土（肥料入り）を入れましょう。
- アサガオの種は種皮が硬く吸水しにくいいため、そのまま種をまくと発芽時期が揃わなかったり、発芽しないことがあるので、ペットボトルなどに入れてよく振って傷を付けるか、芽切り（芽かき）といって、カッターや爪切り、はさみ等を用いて種皮の一部に、中の胚乳の白い部分がわずかに見える程度に傷を付けておけば発芽しやすくなります。ただし、傷を付ける場所は、浅く確実に付けるならどこでも良いですが、胚の部分は深く傷が付くと発芽しなくなるので避けた方が無難です。また、芽切りをしてもあわててまく必要はなく、余った種は翌年以降まいても問題はありません。
- 約40cm間隔で支柱を立て、固定しましょう。



(2) 種まき

- 5月上旬から6月中旬の期間に行います。
- ある程度の大きさになるまでは、プランターではなく、ビニールポットで育てた方が安心です。ポットに根がはって、底の穴から根がたくさん出てきたら、植え替えの目安です。
- プランターに直接、種をまくときは、25粒くらいまいて、土を1cmくらいかぶせ、土の表面が水でひたるまで水をたっぷりやりましょう。



(3) 水やり

プランターは、水分の蒸発・流出が早く、しかも伸び盛りになるとよく乾くので、目安として、1日1～2回、土の表面が乾いてきたら土の表面が水でひたるまで水をたっぷりやりましょう。また、葉にまんべんなく水をかけてあげると、ハダニを防いだり、除去することができます。

(4) 追 肥

生育に応じて2週間に1回くらい液体の肥料を、1か月に1回くらい油かすを追加しましょう。ひと掴みをプランターの四隅に分けてまいて下さい。ただし、まきすぎに注意しましょう。(茎がグンと伸びたとき、葉の緑色が薄くなったとき、なんとなくひょろっとしているときも肥料を追加しましょう。)

(5) ネット張り等

窓やサッシの両側の柱等にネットを固定できない場合は、園芸用支柱を土に刺し、固定しましょう。(台風が近づいてきたときは、ネットをはずし、地面に置きましょう。)

(6) 発芽及び間引き等

まいてから1週間くらいで発芽します。種皮が子葉を覆ったまま発芽した場合は、種皮を取り除きましょう。

最初に生えてくる葉を子葉といいます。その次に生えてくる葉を本葉といいます。本葉が2~3枚になったら、元気な苗を残して、状態が悪いものを間引きし、3本から5本残し、苗の間隔が12cm~15cmになるように植え替えましょう。植え付けた後は、土の表面が水でひたるまで水をたっぷりやりましょう。

※間引きとは、育った苗のうち、大きくなりそうな苗だけ残して、小さい方を茎の下でカットすることです。



(7) 成 長

つるが伸びたら、左巻き(右ネジと同じ巻き方)になるように、支柱へ誘導しましょう。その後は、ネットなどに、つるをはわせてあげましょう。本葉が5枚から7枚になったら、先を少しカットしてあげると、新しいつるが生えて、横に広がるようになります。また、おうぎ型につるをはると、きれいなカーテンができます。

病害虫対策もしっかりしましょう。(人にも環境にもやさしいものを選びましょう。)

(8) 受 粉

アサガオは、元来自家受粉する植物のため、人工受粉させる必要はありません。

(9) 収穫・片付け

開花後1か月半ほどで果実が茶色になり、成熟し採種可能となります。1株について少なくとも3回程に分けて採種するとよいでしょう。完全に成長しきった種は、青いまま収穫して自然風乾させると黒くなります。収穫した種は、翌年のために取っておきましょう。

アサガオのスケジュール

